

## 巻 頭 言

平成 17 年 6 月に第 1 回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」が宇都宮市で開催されて以来、これまで 7 回の全国大会が開催されてきました。以来 10 年余りが経過する中で、人と環境にやさしい交通環境を創出していく上での主軸となる鉄軌道、バスといった公共交通をめぐる状況は大きな変化を遂げました。

平成 19 年に施行された「地域公共交通の活性化及び再生法」を嚆矢として、平成 25 年には「交通政策基本法」の施行、さらにはそれを受けての「地域公共交通の活性化及び再生法の一部改正」（平成 26 年）といった制度環境面での変化、併せて「都市再生特別措置法の一部改正」（平成 26 年）により、機能集約型都市構造への転換に実効性を持たせるためのスキーム（立地適正計画）も整えられてきました。

こうした制度環境の変化と相前後し、全国各地でそれぞれの地域の状況に応じた先進的な交通まちづくりの取り組みが緒につき始め、その成果も表れ始めつつあります。これまでの過度な車依存社会を見直し、少子高齢化を伴う確実な人口減少の中でも活力と真の豊かさを備えた持続可能な地域・都市社会の形成に向けて、今まさに大きな潮流変化の渦中にあると見る事ができます。

こうした動きを確実なものとし、さらに推進していく上では、裾野の広い交通まちづくりに関わるあらゆる分野の方々が一同に会し、考え方、技術・技法、取り組み事例等について情報交換、議論を深めるための継続した機会が不可欠と思われまます。「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」はそうしたことをねらいとしたものであり、特に主要なプログラムの一つである「研究発表大会」はその絶好の機会であります。

これまでの研究発表大会においても、交通まちづくり分野の裾野の広さを反映し、行政担当者、交通事業者、コンサルタント、大学等の研究者、さらには市民活動団体代表者等幅広い分野の方々が、多様なテーマで発表しております。福井市で開催される今回の第 8 回大会においても、49 編の成果が発表されます。これまで同様、実りある研究発表の場になることを期待し、また確信しております。

さて開催地である福井では、今春（2016 年春）バスターミナルと路面電車電停を備えた総合交通ターミナルとしての J R 福井西口駅前広場が開業し、同時に進められていた西口再開発事業も完成したことで、県都の玄関が一新されました。また、二つの再生された地方鉄道（えちぜん鉄道と福井鉄道）により鉄道と軌道が田原町駅を介して相互直通運行を開始し、5 編成の L R V の導入、駅や電停の改修等と併せて「福井なりの L R T 化」が大きく前進しました。全国有数の車依存社会からの脱却を目指した福井の取り組みの第一歩が記されたともいえます。

こうした時期に本大会が福井で開催されることは、福井にとっても価値ある機会であります。全国から参加される方々には、併せて福井の取り組み、今後の展開に対して忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。

福井大学大学院工学研究科 教授 川上洋司

（第 8 回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」 in 福井 実行委員長）

# 第8回福井

# 目次

## 1. 北陸の取組み

607会場

座長：出町 敦、副座長：三寺 潤

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	新駅設置の事後評価に関する研究 ～えちぜん鉄道「まつもと町屋駅」を対象として～	三寺 潤 中西健太 大川上洋司	福井工業大学 環境情報学部 デザイン学科 三交不動産(株) 福井大学大学院 工学研究科	1
2	福井の強みを活かす新幹線開業対策	寺川直輝	福井商工会議所 地域振興部	3
3	福井鉄道・えちぜん鉄道による相互乗り入れ	平林 透	福井県 総合政策部 交通まちづくり課	5
4	福井市の交通政策と福井鉄道駅前線延伸	三上 進	福井市 都市戦略部 新幹線推進室	7
5	地方鉄道は典型的衰退産業なのか (あるいは衰退産業のままで良いのか)	伊東尋志	えちぜん鉄道(株)	9
6	福井鉄道の経営再建と交通網の進化	村田治夫	福井鉄道(株)	11
7	路面電車の高度化と北陸地方の軌道	大野真一	人と環境にやさしい交通をめざす協議会	13
8	城端線ライトレール構想	松原光也	路面電車と都市の未来を考える会 (RACDA) 高岡	15

## 2. 地域公共交通

601A会場

座長：板谷和也、副座長：入江貴裕

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	住民意識の差違とバス利用の関係	加藤研二	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科	17
2	守谷市の路線バス&コミバスの現在位置バス情報アプリ	嶋原育子	茨城大学大学院 (株)マネジメントシステム	19
3	交通事業者間の協業で地域交通の活性化を (公共交通機関のみで全国3259市町村役場すべてに行った経験から)	児井正臣	川崎市長尾台コミュニティバス利用者協議会	21
4	バス停情報の収集について	佐野一昭	バス停情報研究家	23
5	瀬戸芸マップでみえる課題、全国共通カードと時刻改正	岡 将男	(N)公共の交通ラクダ	25
6	トラムトレイン導入効果と可能性 ～広島市にみる	園部貴之	ジャーナリスト	27
7	未来にはばたけ！あすなろう鉄道	山本勝久	四日市市 都市整備部	29
8	鉄道が役割を終えたかどうかの判断基準についての一考察	板谷和也	流通経済大学 経済学部	31
9	四日市あすなろう鉄道開業後について	堀後達紀	龍谷大学 国際文化学研究所	33
10	神戸電鉄栗生線活性化の取り組み	由井実里	栗生線の未来を考える市民の会	35

## 3. 交通まちづくり全般

601C会場

座長：宮沢康則、副座長：本田 豊

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	フランスにおける公共交通調査団 視察報告	近藤翔平	(公社)日本交通計画協会	37
2	地域の再生・活性化に向けた自転車の利活用に関する試み	吉村朋矩、山田将大 佐藤直樹	福井工業大学 工学部 静岡大学 学生支援センター	39
3	Velo-cityとWalk21への招待	古池弘隆	宇都宮共和大学 シティライフ学部	41
4	赤外線を利用した歩行者自動計測システムによる中心市街地の歩行者交通量の実態	加納壮貴、長田哲平 大森宣暁 古池弘隆	宇都宮大学 " " 宇都宮共和大学	43
5	自転車自動計測システムを用いた自転車交通量の実態	加納壮貴、長田哲平 古池弘隆	宇都宮大学 宇都宮共和大学	45
6	横浜にLRTを走らせる会の活動 ～市民参加での横浜都市交通計画改定に至るまで	松川由実	(N)横浜にLRTを走らせる会	47
7	関西交通政策実務者懇話会10年間の活動と意義	本田 豊 村尾俊道	兵庫県 阪神北摂民局 宝塚土木事務所 京都府 建設交通部	49
8	人と公共交通優先の歩いて楽しいまちづくり「四条通歩道拡幅事業」	森藤 淳	京都市 都市計画局 歩くまち京都推進室	51
9	クルマ側の共存意識の醸成こそ交通整序化の端緒	小林成基	(N)自転車活用推進研究会	53
10	仙台市中心部の新たな交通システム「コミュニティサイクル」に関する考察	岩崎裕直	(公財)仙台市建設公社	55

## 4. 新交通システム

706会場

座長：古川 洋、副座長：服部重敬

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	LRT 2016年の動向	服部重敬	(一社)地域公共交通総合研究所	57
2	BRTとLRT ～公共交通(PPT)のためのモードの選択～	古川 洋	(株)アンジェロセック	59
3	フランスの公共交通プロジェクト執行における官の体制	ジャンピエール・ラガリュ	(株)アンジェロセック	61
4	VRを用いたLRT導入計画の市民PRに関する研究	渡邊浩大、長田哲平 大森宣暁	宇都宮大学	63
5	LRT計画を支援する都市環状道路の機能分析 ～宇都宮市を事例として～	牧野浩志 西坂 淳	国土交通省 国土技術政策総合研究所 (株)長大 社会システム事業部	65
6	公共交通における本源的需要の重要性と役割 ～池袋LRT計画を対象として～	山北沙緒里、森本章倫 浅野周平	早稲田大学大学院 創造理工学研究科	67
7	クリーンなエネルギーで走るLRTの提案	亀谷崇樹 高見 弘 Jamal Uddin 鈴木源治 勝間ひでとし	多摩美術大学 芝浦工業大学 Coppin State University 元 東京電機大学 湘南LRT研究グループ	69
8	岡山市における路面電車駅前乗り入れ効果の定量予測 ～交通流シミュレーションを用いたバーチャル社会実験	藤井秀樹、内田英明 加納達彬、吉村 忍	東京大学大学院 工学系研究科	71
9	ミャンマー路面鉄道の電車化工事を施工して	鈴木幸喜、相原政美 中山浩一、坂井奈穂子	日本電設工業(株) 鉄道統括本部	73
10	宇都宮のLRTのこれまでを振り返る	古池弘隆	宇都宮共和大学 シティライフ学部	75
11	国認定の宇都宮LRTと「雷都レールとちぎ」の活動方針	奥備一彦	雷都レールとちぎ	77

## 5. 政策提言・新技術

707会場

座長：室田篤利、副座長：新納克広

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	観光周遊乗合バスの意義と効果	新納克広	奈良県立大学 地域創造学部	79
2	聖地巡礼ブームから学ぶ事	柴田智洋	(N)横浜にLRTを走らせる会	81
3	路線バスを活用した客貨混載輸送の展望	堀内重人	運輸評論家	83
4	オリンピック・パラリンピックを見据えたユニバーサルデザイン化	室田篤利	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株)	85
5	東京一極集中時代における「東京ローカル」の立場	藤村建一郎	都電網研究会 人と環境にやさしい交通をめざす協議会	87
6	パブリックスペースの交通施設として果たせる役割			89
7	交通まちづくりにおけるCIM(3次元モデル)の活用可能性	小路泰広	(一財)日本建設情報総合センター	91
8	3DVRを用いた2050年の未来都市のイメージ作成に関する研究	三田洋太郎、森本章倫 浅野周平	早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 交通計画研究室	93
9	宇都宮市中心市街地における端末物流実態の把握について	齋藤 輝、長田哲平 大森宣暁	宇都宮大学	95
10	満員電車ゼロ -2階建てより安く早くできる方策を-	阿部 等	(株)ライトレール	97

## 付 録

No	タイトル	氏名	所属	ページ
1	交通政策基本法及び関連事項の解説	阿部 等	(株)ライトレール	1
2	関連2法等の一部改正		国土交通省	2
3	交通政策基本法		国土交通省	3
4	交通政策基本計画		国土交通省	7
5	交通政策白書 平成27(2015)年版概要の抜粋		国土交通省	13
6	交通政策白書 平成28(2016)年版概要		国土交通省	14
7	交通政策白書 平成28(2016)年版目次		国土交通省	19
8	全国の公共交通に関する条例	宇都宮浄人	関西大学	23
9	第12回全国路面電車サミット2015鹿児島大会 サミット宣言		第12回全国路面電車サミット2015鹿児島実行委員会	24
10	交通新聞2016.2.8 見通し	宇都宮浄人	関西大学	25
11	交通新聞2016.8.3 信用乗車の新展開	服部重敬	(一社)地域公共交通総合研究所	26
12	新交通システム推進議員連盟(通称:LRT推進議連) 会員名簿		新交通システム推進議員連盟	27